

平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社小田原エンジニアリング
 コード番号 6149 URL <http://www.odawara-eng.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮脇 伸郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 石塚 立身 (TEL) 0465-83-1122
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	1,949	110.3	△30	—	△127	—	△111	—
25年12月期第1四半期	926	△0.8	58	△59.1	61	△58.0	39	△52.1

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 △141百万円(—%) 25年12月期第1四半期 83百万円(△14.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	△19.04	—
25年12月期第1四半期	6.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	12,702	8,834	64.9
25年12月期	12,121	9,039	69.4

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 8,248百万円 25年12月期 8,416百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,400	127.1	△90	—	△155	—	△150	—	△25.63
通期	10,000	77.7	250	36.9	290	△22.2	180	△72.7	30.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年12月期1Q	6,392,736株	25年12月期	6,392,736株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	539,283株	25年12月期	539,241株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年12月期1Q	5,853,473株	25年12月期1Q	5,853,587株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融証券取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 2 ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、景気は緩やかに回復し、企業収益や企業の業況判断は幅広く改善し、消費税率引上げに伴う駆け込み需要により、個人消費や企業の生産活動は増加いたしました。

一方世界経済は、中国では景気は緩やかに拡大し、米国では緩やかに回復し、欧州では景気は持ち直しの動きがみられるなど、全体としては一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復いたしました。

このような状況下、当社グループは国内外で積極的な営業活動を展開し、前連結会計年度にローヤル電機株式会社及び同社の連結子会社5社を連結子会社としたことにより、売上高は1,949百万円(前年同四半期比110.3%増)となりましたが、利益面につきましては巻線機事業において開発要素の高い案件や先を見据えた研究開発を進めたことに加え、新社屋稼働に伴う負担増により、営業損失は30百万円(前年同四半期は58百万円の営業利益)、持分法による投資損失96百万円を計上したことにより、経常損失は127百万円(前年同四半期は61百万円の経常利益)、四半期純損失は111百万円(前年同四半期は39百万円の四半期純利益)となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、当社グループは、従来モーター用巻線設備の開発、設計・製造、販売を行う単一セグメントのためセグメント情報の記載は省略し、製品及びサービスごとの売上について説明しておりましたが、前連結会計年度よりローヤル電機株式会社及びその子会社を連結子会社としたことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを、「巻線機事業」及び「送風機・住設関連事業」に変更しております。また、企業再生支援事業は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「その他」に区分しております。そのため、前年同四半期との対比の記載はしていません。

①巻線機事業

巻線機事業に関しては、産業機器向け設備や自動車向け設備、中国をはじめとした家電製品向けの輸出案件等により、売上高は940百万円、セグメント利益は19百万円となりました。

②送風機・住設関連事業

送風機事業に関しては、中国をはじめとするアジア経済の成長率鈍化はあるものの、軸流工作機械向けの納期の前倒し、住設関連事業に関しては、新規住宅着工件数の回復基調や消費増税前の駆け込み需要による影響を受け、売上高は989百万円、セグメント利益は20百万円となりました。

③その他

ゴルフ場再生支援関連により、売上高は18百万円、セグメント損失は3百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.5%増加し、8,637百万円となりました。これは主に、商品及び製品が155百万円、仕掛品が392百万円それぞれ増加し、現金及び預金が208百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.3%増加し、4,065百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が210百万円増加し、投資有価証券が114百万円減少したこと等によるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて4.8%増加し、12,702百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて33.2%増加し、3,141百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が225百万円、前受金が438百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.5%増加し、727百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて25.5%増加し、3,868百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.3%減少し、8,834百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上等により利益剰余金が170百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年2月14日に公表しました平成26年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「平成26年12月期第2四半期累計期間(連結)の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、この予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,477,117	3,268,752
受取手形及び売掛金	2,252,283	2,317,136
電子記録債権	71,667	112,354
営業投資有価証券	219,374	214,195
商品及び製品	767,956	923,799
仕掛品	686,754	1,079,408
原材料及び貯蔵品	357,827	407,288
未収還付法人税等	7,738	1,013
繰延税金資産	143,236	174,498
その他	124,915	141,267
貸倒引当金	△1,848	△2,193
流動資産合計	8,107,023	8,637,519
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,309,592	2,553,190
減価償却累計額	△1,403,725	△1,436,715
建物及び構築物(純額)	905,866	1,116,475
機械装置及び運搬具	1,050,618	1,073,681
減価償却累計額	△876,272	△889,656
機械装置及び運搬具(純額)	174,345	184,025
工具、器具及び備品	1,025,361	1,084,933
減価償却累計額	△861,049	△890,248
工具、器具及び備品(純額)	164,311	194,685
土地	1,618,847	1,621,036
建設仮勘定	66,780	18,468
有形固定資産合計	2,930,152	3,134,690
無形固定資産		
ソフトウェア	86,175	81,276
電話加入権	5,069	5,069
その他	214	210
無形固定資産合計	91,459	86,557
投資その他の資産		
投資有価証券	684,111	570,037
破産更生債権等	50,000	0
繰延税金資産	35,769	36,144
その他	223,077	237,657
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	992,957	843,839
固定資産合計	4,014,569	4,065,088
資産合計	12,121,592	12,702,607

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,160,441	1,385,652
短期借入金	230,000	230,000
1年内返済予定の長期借入金	17,368	10,870
未払金	173,047	267,375
未払法人税等	25,563	45,888
前受金	484,582	922,664
賞与引当金	51,029	133,013
アフターサービス引当金	38,186	43,055
その他	178,625	102,713
流動負債合計	2,358,845	3,141,233
固定負債		
繰延税金負債	53,785	49,727
退職給付引当金	297,514	295,884
役員退職慰労引当金	320,370	326,340
資産除去債務	32,623	32,862
その他	19,425	22,478
固定負債合計	723,718	727,292
負債合計	3,082,563	3,868,525
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,250,816	1,250,816
資本剰余金	1,580,813	1,580,813
利益剰余金	6,104,468	5,934,461
自己株式	△421,215	△421,242
株主資本合計	8,514,882	8,344,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	75,107	62,625
繰延ヘッジ損益	△3,091	△2,065
為替換算調整勘定	△170,308	△156,793
その他の包括利益累計額合計	△98,293	△96,234
新株予約権	100	100
少数株主持分	622,339	585,368
純資産合計	9,039,028	8,834,082
負債純資産合計	12,121,592	12,702,607

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	926,943	1,949,203
売上原価	649,040	1,547,555
売上総利益	277,903	401,647
販売費及び一般管理費	219,812	432,248
営業利益又は営業損失(△)	58,091	△30,601
営業外収益		
受取利息	1,432	999
受取配当金	—	79
受取賃貸料	—	2,319
為替差益	767	—
作業くず売却益	263	1,417
その他	885	4,589
営業外収益合計	3,349	9,404
営業外費用		
支払利息	—	426
為替差損	—	5,632
減価償却費	—	1,967
持分法による投資損失	—	96,322
その他	—	1,753
営業外費用合計	—	106,103
経常利益又は経常損失(△)	61,440	△127,299
特別利益		
固定資産売却益	—	397
特別利益合計	—	397
特別損失		
固定資産除却損	460	146
特別損失合計	460	146
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	60,979	△127,048
法人税、住民税及び事業税	5,573	42,385
法人税等調整額	15,677	△29,966
法人税等合計	21,251	12,419
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	39,728	△139,468
少数株主損失(△)	—	△27,996
四半期純利益又は四半期純損失(△)	39,728	△111,472

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	39,728	△139,468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,842	△14,241
繰延ヘッジ損益	—	1,026
為替換算調整勘定	27,919	10,838
その他の包括利益合計	43,761	△2,376
四半期包括利益	83,489	△141,844
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83,489	△109,413
少数株主に係る四半期包括利益	—	△32,431

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

当社グループは、巻線機事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上 高	940,546	989,705	1,930,251	18,952	1,949,203	—	1,949,203
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	191	191	—	191	△191	—
計	940,546	989,896	1,930,442	18,952	1,949,394	△191	1,949,203
セグメント利益	19,800	20,507	40,307	△3,932	36,374	△66,976	△30,601

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、企業再生支援事業であります。

2. セグメント利益の調整額△66,976千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり
当社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、ローヤル電機株式会社及び同社の連結子会社5社が連結子会社となったことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「巻線機事業」の単一セグメントから、「巻線機事業」「送風機・住設関連事業」に変更しております。